

第105期 中間

株主通信

2020年4月1日～2020年9月30日



大福中国トレーニングセンター開校式(中国・上海)

コロナ禍の中、増収増益を達成 ニューノーマル社会に向け開発強化



代表取締役社長
下代 博

当第2四半期連結累計期間における世界経済は新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せないうえに、ハイテク分野を巡る通商問題も加わって先行き不透明な状況が続きました。

当社の受注は新型コロナウイルス感染症の影響による商談の遅れ、案件の期ずれなどにより前期の実績には及びませんでした。売上は生産・工事ともに大きな支障なく、豊富な前期末受注残高をベースに順調に進捗しました。

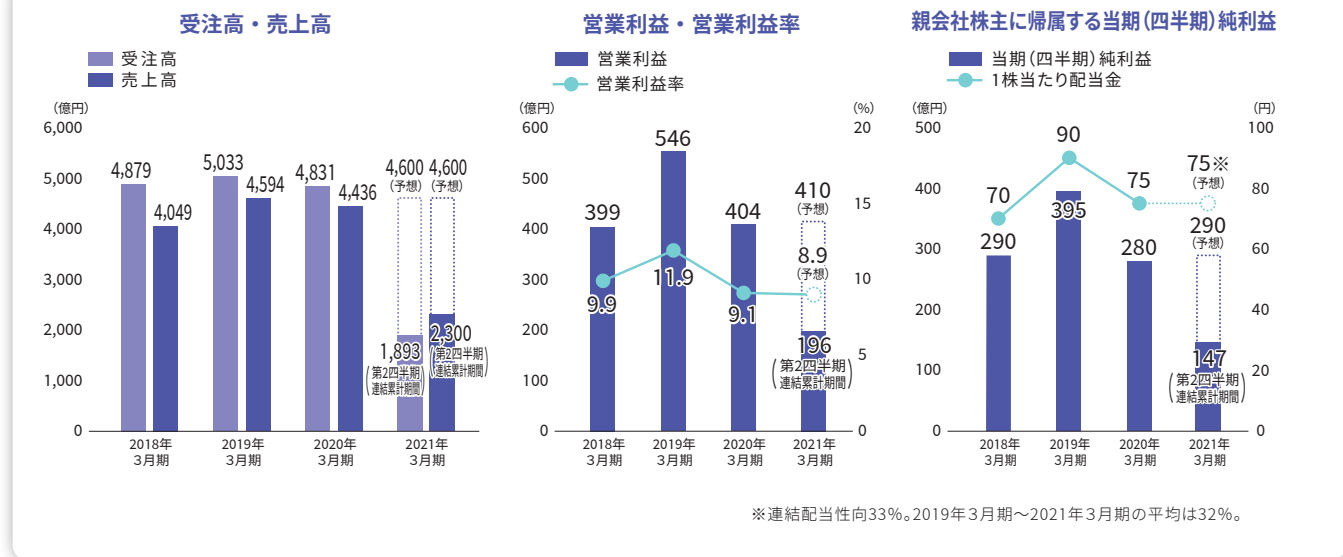
この結果、受注高は1,893億8百万円(前年同期比11.7%減)、売上高は2,300億6百万円(同10.2%増)となりました。

利益面では国内の一般製造業・流通業向けシステムがけん引しました。

この結果、営業利益は196億69百万円(同13.8%増)、経常利益は203億44百万円(同15.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は147億32百万円(同11.9%増)となりました。

下期においては商談も進み、引き合いも戻りつつあります。特に第3四半期は期ずれした案件も含め、受注が大きく回復する見込みです。

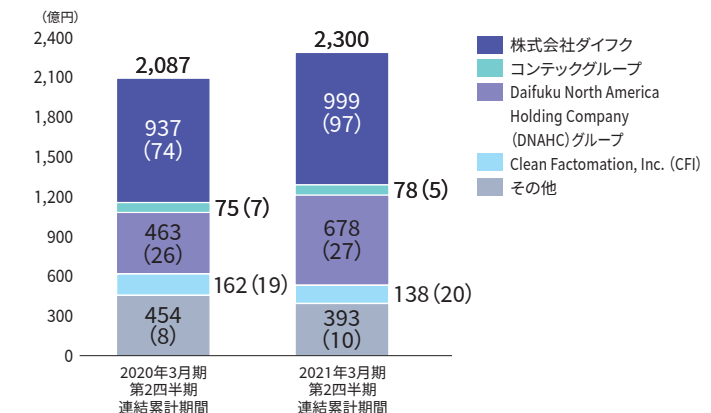
財務ハイライト



当社は今後、新たな物流ソリューションを開発・提供し、コロナ前とは違う新たな日常「ニューノーマル」社会の構築に貢献していきます。

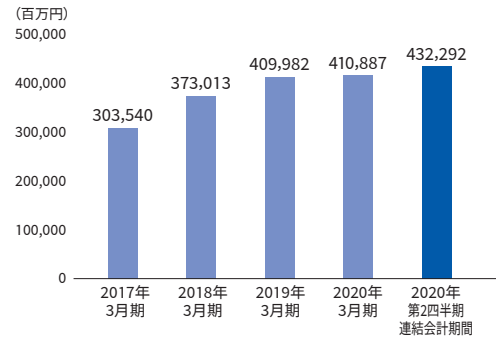
株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援とご鞭撻を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

セグメント別売上高・純利益



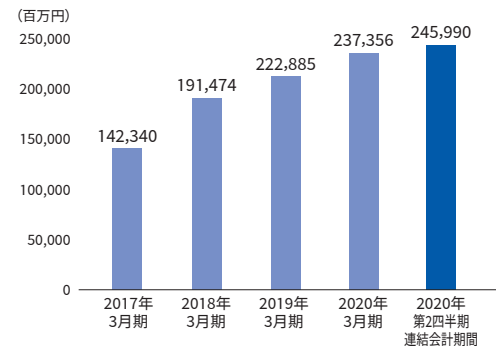
総資産 4,322億92百万円

現預金、受取手形、完成工事未収入金等が増加。



純資産 2,459億90百万円

利益剰余金が増加。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) | 前連結会計年度 (2020年3月31日) |
|--------------------|------------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 340,740 | 319,683 |
| 固定資産 | 91,552 | 91,204 |
| 有形固定資産 | 47,807 | 47,343 |
| 無形固定資産 | 10,331 | 10,133 |
| 投資その他の資産 | 33,413 | 33,727 |
| 資産合計 | 432,292 | 410,887 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 151,876 | 138,695 |
| 固定負債 | 34,425 | 34,836 |
| 負債合計 | 186,302 | 173,531 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 241,235 | 231,714 |
| 資本金 | 31,865 | 31,865 |
| 資本剰余金 | 21,982 | 21,987 |
| 利益剰余金 | 188,504 | 179,292 |
| 自己株式 | △ 1,116 | △ 1,430 |
| その他の包括利益累計額 | △ 26 | 1,246 |
| その他有価証券評価差額金 | 3,559 | 2,716 |
| 繰延ヘッジ損益 | △ 135 | △ 89 |
| 為替換算調整勘定 | △ 1,523 | 1,038 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △ 1,927 | △ 2,419 |
| 非支配株主持分 | 4,780 | 4,394 |
| 純資産合計 | 245,990 | 237,356 |
| 負債純資産合計 | 432,292 | 410,887 |

連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日) | 前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 230,006 | 208,734 |
| 売上原価 | 188,501 | 169,926 |
| 売上総利益 | 41,504 | 38,808 |
| 販売費及び一般管理費 | 21,834 | 21,521 |
| 営業利益 | 19,669 | 17,286 |
| 営業外収益 | 1,098 | 910 |
| 営業外費用 | 423 | 577 |
| 経常利益 | 20,344 | 17,619 |
| 特別利益 | 3 | 786 |
| 特別損失 | 164 | 9 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 20,183 | 18,396 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,584 | 3,177 |
| 法人税等調整額 | △ 351 | 1,769 |
| 法人税等合計 | 5,233 | 4,946 |
| 四半期純利益 | 14,950 | 13,450 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 14,732 | 13,168 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 217 | 281 |

連結キャッシュ・フロー計算書

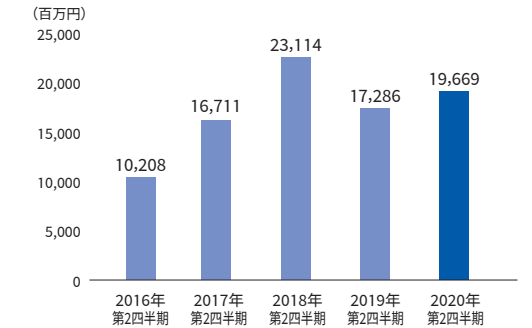
(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日) | 前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|--------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 12,262 | 6,020 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 4,254 | △ 6,428 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 7,394 | △ 12,345 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 1,782 | △ 1,389 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 13,619 | △ 14,142 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 70,883 | 90,903 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 772 | - |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 85,276 | 76,760 |

営業利益

196億69百万円

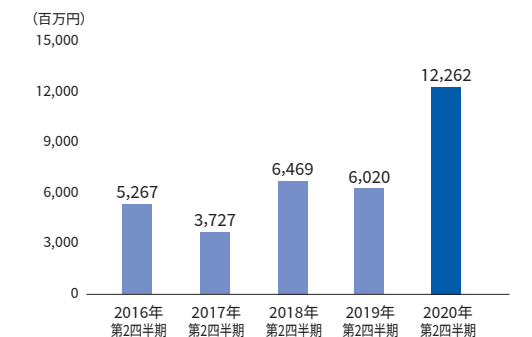
国内の一般製造業・流通業向けシステムがけん引。



営業活動によるキャッシュ・フロー

122億62百万円

たな卸資産の増加はあったものの、税金等調整前四半期純利益が増加。



新しい生活様式を支える「マテリアルハンドリング」

Ⓧ 自動化技術で非接触の時代へ

新型コロナウイルス感染症が拡大している中、世界中で3密回避、人との接触を減らすことが求められています。ダイフクは創業以来、80年以上にわたって自動化・省力化・無人化を目指してきました。結果的にウィズコロナ・アフターコロナ時代にマッチしたシステムを提供する企業として、社会的に高い期待を集めています。「止めない物流」へのこだわりは、社会インフラを維持するうえで重要な要素と認められるようになりました。

Ⓧ 空港関連も先を見据えた投資

新型コロナウイルス感染症により移動制限がかかり、空港利用者数は大幅に減少していますが、当社の空港関連システムの受注動向に大きな変化はありません。空港は、受注から稼働まで3～4年かかる公共事業であるため、足元の事象には左右されにくい特性があります。

地域別のニーズでは、最大の市場である北米において老朽化した設備の改造とセキュリティの強化に対する需要が拡大しています。アジア・オセアニアは空港ターミナルの拡張案件が引き続き堅調です。さらに、欧州では手荷物検査が厳格化しており、先を見据えた投資が継続される見込みです。

セルフ手荷物チェックインシステム

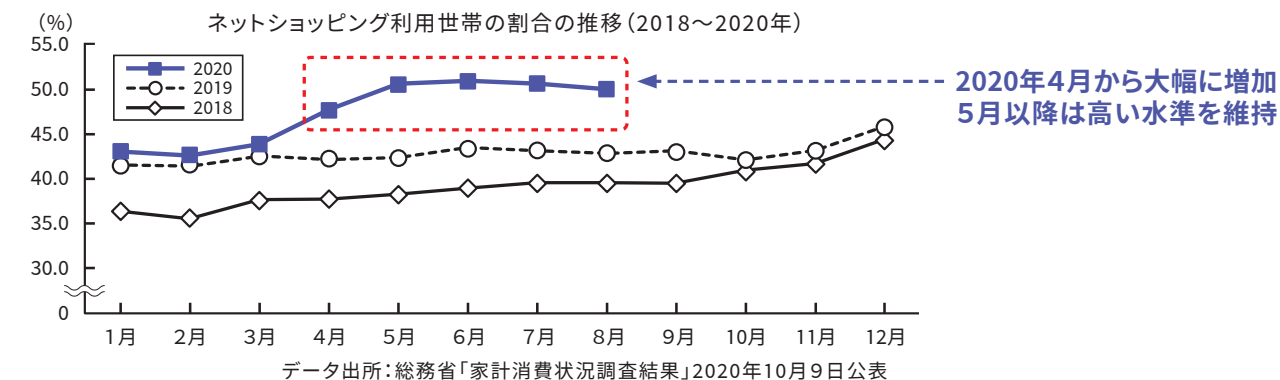
搭乗者自身で手荷物を自動で預けることができるシステム。従来のグランドスタッフによる手続きを自動化することで、接触軽減や待ち時間短縮による感染リスクの回避、省人化に貢献します。



総合展示場「日に新た館」

Ⓧ eコマースの拡大

近年、eコマース市場は右肩上がりの成長が続いています。新型コロナウイルス感染症により、ネットショッピングの利用が一層加速しました。eコマースの進展に伴う物量の増加を背景に、共同配送の強化や拠点統合などが行われ、プロジェクトが大型化しています。当社は、自動化を実現するシステムソリューションを提案し、省人化・省力化に努めています。



物流倉庫に適した高能力自動倉庫

高能力

納期の短縮

軽量化

消費電力軽減

流通業界向けの物流倉庫に適した高能力ケース自動倉庫「ファインストッカー」。入出庫を同時に行える機構により、移載時間を短縮しました。

クレーンのマストを2本から1本にすることで大幅に軽量化し、消費電力を従来比約27%削減しました。また、現地での組立時間短縮により、納期も短くなりました。



ファインストッカー H-P10

ドライブスルー式荷物積み降ろし装置 「TRTS」で自動化に道

当社はドライブスルー式荷物積み降ろし装置「TRTS(トータス)」を開発しました。

フォークリフトを使わずに荷積み、荷降ろしができるようになり、トラック待機時間の短縮、運行台数・ドライバー人数の最適化につながっています。

ウイングボディトラック専用の装置で、トラックの側面から自動で荷物を積み降ろしするシステムは世界初です(当社調べ)。

導入前 積み降ろし時間**40分**

導入後 積み降ろし時間**10分**

※10tトラック、32パレット積載時



全てのパレットを一度に移載

セルフ洗車機専用 スマートフォンアプリの提供を開始

株式会社ダイフクプラスモアは業界初となるセルフ洗車機専用スマートフォンアプリ「@Wash System(アットウォッシュシステム)」の提供を開始しました。これによりプリペイドカードレス化が図れます。キャッシュレス決済に加えて、サブスクリプション(定額制)を活用した洗い放題サービスにも対応します。



スマートフォンでスムーズに洗車



新企業広告 「わくわくする未来のために、 物流は動き始めています。」

当社は6月末から新しい企業広告を国内外で展開しています。ニュージーランド在住のCGアーティストによる緻密な描写で「未来の物流と暮らし」をシリーズで表現しています。



JR浜松町駅(東京都)

学生ものづくりイベント「Discovery Hackathon 2020」を開催

当社はディスカバリー・ジャパン合同会社と共同で、9月26日・27日の2日間にわたり、学生向けものづくりイベント「DAIFUKU Presents Discovery Hackathon 2020」を完全オンラインにて開催しました。参加者は『『あたりまえ』をハックせよ』をテーマに、新たなプロダクトやサービスの開発に挑みました。



抽選で選ばれた60名(15チーム)が参加

社是 Company Creed

今日の「われ」は
 昨日の「われ」にあらず
 明日の「われ」は
 今日の「われ」にとどまるべからず

Today we are doing better
 than we were yesterday.
 Tomorrow we will be growing
 ahead of where we are today.



経営理念 Management Philosophy

1. 最適・最良のソリューションを提供し、世界に広がるお客さまと社会の発展に貢献する。
 2. 自由闊達な明るい企業風土のもと、健全で成長性豊かなグローバル経営に徹する。
1. Provide the best solutions to benefit the global markets and the development of society.
 2. Focus on healthy, growth-driven global management under a diverse and positive corporate culture.

会社概要

(2020年9月30日現在)

商号 株式会社ダイフク
 設立 1937年(昭和12年)5月20日
 資本金 31,865,305,168円
 代表者 代表取締役社長 下代 博
 従業員数 11,443人(グループ総数)
 主要拠点 本社 〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-2-11
 TEL: 06-6472-1261(代)
 東京本社 〒105-0022 東京都港区海岸1-2-3
 汐留芝離宮ビルディング
 TEL: 03-6721-3501(代)
 事業所
 滋賀 〒529-1692 滋賀県蒲生郡日野町中在寺1225
 TEL: 0748-53-0321(代)
 小牧 〒485-8653 愛知県小牧市小牧原4-103
 TEL: 0568-74-1500(代)
 支店 北海道、東北、新潟、北関東、東京、藤沢、静岡、名古屋、
 東海、北陸、大阪、中国、九州
 海外 支店や現地法人を26の国と地域に展開しています。

役員一覧

(2020年9月30日現在)

| | |
|-------------------|--------|
| 代表取締役社長 社長執行役員 | 下代 博 |
| 取締役専務執行役員 | 本田 修一 |
| 取締役常務執行役員 | 佐藤 誠治 |
| 取締役常務執行役員 | 林 智亮 |
| 取締役 | 小澤 義昭 |
| 取締役 | 酒井 峰夫 |
| 取締役 | 加藤 格 |
| 取締役 | 金子 圭子 |
| 監査役(常勤) | 木村 義久 |
| 監査役 | 相原 亮介 |
| 監査役 | 宮島 司 |
| 監査役 | 和田 信雄 |
| 常務執行役員 | 阿武 寛二 |
| 常務執行役員 | 岸田 明彦 |
| 常務執行役員 | 堀場 義行 |
| 常務執行役員 | 信田 浩志 |
| 執行役員 | 上本 貴也 |
| 執行役員 | 西村 章彦 |
| 執行役員 | 権藤 卓也 |
| 執行役員 | 三品 康久 |
| 執行役員 | 喜多 浩明 |
| 執行役員 | 鳥谷 則仁 |
| 執行役員 | 田久保 秀明 |
| 執行役員 | 日比 徹也 |
| 監査役員 | 一之瀬 善久 |
| 監査役員 | 齊藤 司 |

(注)小澤 義昭、酒井 峰夫、加藤 格、金子 圭子は、社外取締役であります。
 相原 亮介、宮島 司、和田 信雄は、社外監査役であります。

株式情報

(2020年9月30日現在)

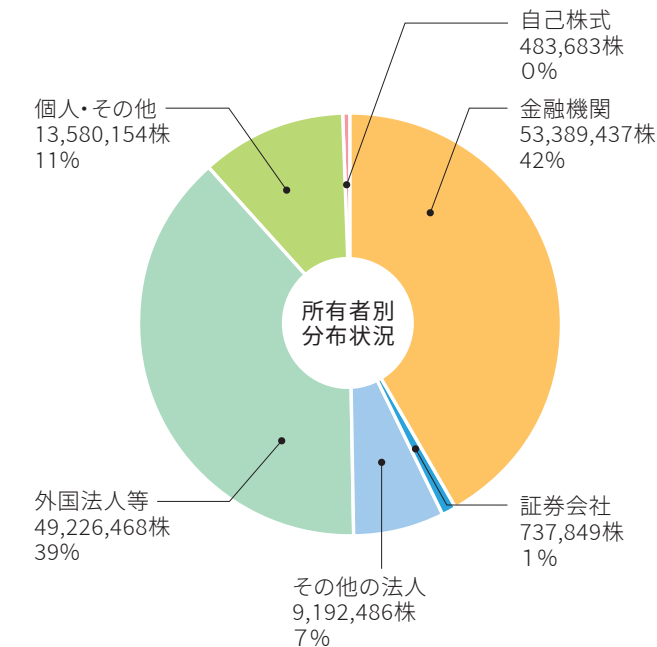
発行可能株式総数 250,000,000株

発行済株式総数 126,610,077株

株主数 16,931名

※前期末より株主数が2,778名減少いたしました。

所有者別分布状況



第105期 中間配当金のお支払いについて

第105期中間配当金は、2020年11月6日開催の取締役会にて、1株につき30円と決議しております。同封の「配当金領収証」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)で払渡期間(2020年12月4日から2021年1月5日まで)にお受け取りください。

なお、振込先をご指定の方には「配当金計算書」お

よび「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしますので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

また、株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引の口座管理機関(証券会社等)へお問い合わせください。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告の方法 電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は日本経済新聞に掲載します。
公告掲載の当社ホームページアドレス
www.daifuku.com/jp/ir/stock/notice

上場証券取引所 東京第1部

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL)
<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主さまは、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主さまは、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

表紙写真の説明

大福(中国)物流設備有限公司・松江工場内に、サービス人員の早期育成とスキルアップを目的に開設。大福(中国)自動化設備有限公司と共同運用。

DAIFUKU
Always an Edge Ahead

株式会社ダイフク

本社：〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-2-11
東京本社：〒105-0022 東京都港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング
www.daifuku.com/jp

TEL：06-6472-1261(代)

TEL：03-6721-3501(代)